

**別記第30 粉末消火剤に係る  
係数を定めるための試験方法  
(H1.3.22消防危24)**

## (1) 器材

器材は、次のものを用いる。

ア 1m×1×0.1mの鉄製の燃焼槽

イ 噴射ヘッド1個（オーバーヘッド用で放出角度90°のフルコーン型。等価噴口面積は、流量の0.7の値を目途として、ヘッドの吐出圧力と圧力容器で調整する。）

ウ 消火剤容器 体積20L以上（消火剤の種別により定める）

エ 消火剤重量 12±1キログラム（消火剤の種別により定める）

## (2) 試験方法

ア 前記1(1)の燃焼槽に対象危険物を深さ3cmとなるように入れて点火する。

イ 点火1分後に次図4-30-1の噴射ヘッドから表4-30-1に示す標準放出量 $Q_s$  (kg/秒)の消火剤を放出圧力（ノズル圧力） $1 \pm 0.2 \text{ kgf/cm}^2$ で、30秒間放出する。

ウ 消火しない場合は、(1)及び(2)の操作の放出量を増して行い、消火するまで繰り返して、消火した時の放出量を記録する。

エ (1)から(3)までの操作を3回以上繰り返し、その平均放出量 $Q$ (kg/秒)を求める。

## (3) 係数の求め方

当該危険物の係数 $K$ は、次の式により求める。

$$K = Q / Q_s$$

$K$ は、小数点以下第2位を四捨五入し、0.2刻みとして切り上げる。

(計算例・・・第1種粉末消火剤の場合の平均放出量が0.25kg/秒の場合、 $K = 0.25/0.2 = 1.25 \div 1.3 \rightarrow 1.4$ となる)

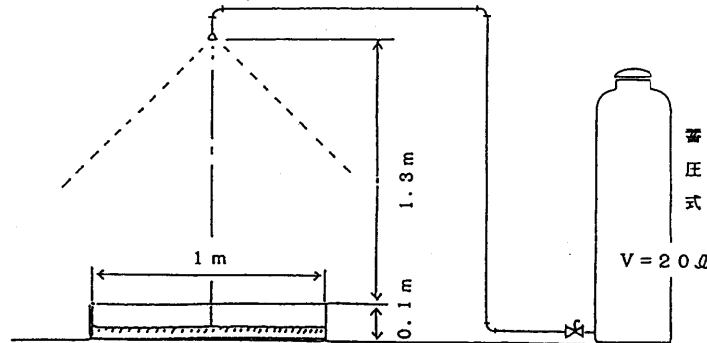


図4-30-1 消火試験器材配置図

表4-30-1 粉末消火剤の種別と標準放出量

消火薬剤の種別	標準放出量 (kg/秒)
第1種粉末	0.20
第2種粉末又は第3種粉末	0.12
第4種粉末	0.08



